



# ゆび募金 だより

会報 第4号

No.

4

おかげさまで  
15周年





# 設立15周年を迎えて

## 理事長からのご挨拶



昨年10月の理事会におきまして、新理事長に就任いたしました。早いもので、今年で設立15周年を迎えます。この間、飲料自販機を通じた社会貢献活動は、福祉、教育、環境、そして国内のみならず海外へと多岐にわたっております。

また、地球温暖化に配慮した消費電力の少ないノンフロン自販機の導入、2010年のハイチ大地震の被災者支援、昨年3月に発生した東日本大震災復興支援など、その時々に応じたニーズに対し、迅速かつ的確にお応え出来る活動スタンスを念頭に日々活動しております。

「おかげさまで15年」の節目のもと、できることで絆をつなぐという気持ちを忘れることなくこれからも進んでいきたいと思っております。「ゆび募金」を通じて、社会貢献を続ける事の意義を皆様とともに広めていきたいと考えておりますので、今後も更なるご理解とご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ジャパン・カインドネス協会理事長 松谷高顕

ジャパン・カインドネス協会（JK協会）のゆび募金自動販売機による寄付金額は、2012年4月末現在で累計87,949,932円、台数は1,000台を越えました。これも皆様のご理解・ご支援の賜物と心より感謝しております。

この15年間で、企業のCSRや人々の社会貢献に対する意識は着実に向上し、それが当協会の活動を後押ししてくれたものと考えています。寄付金がどのように活動に生かされているのか、寄付先団体の活動をより広くご紹介し、オーナー様、企業様、寄付先団体様の三者をつなぐ役割を強化していきたいと思っております。それが結果的にゆび募金という活動を広めていく方法だと感じています。

昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害が起こりました。当協会では、会員の皆様のご理解を得て、募金の一部を緊急支援にあてるなどの柔軟な対応をとることができました。これも関係各位との信頼関係がもたらしたものであると思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

（事務局）



## JKレポート 寄付先の 活動を知ろう



【設立】昭和42年8月10日  
【代表】井上 幸彦

公益財団法人日本盲導犬協会は、視覚障がい者の社会参加を促進し、視覚障がい者福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。安全で快適な盲導犬との歩行を提供する他、各種リハビリテーション訓練や、盲導犬と視覚障がい者への理解促進へむけ啓発活動も行っています。現在、全国で約1,000頭の盲導犬が活躍していますが、まだまだ足りないのが現状です。盲導犬育成の財源は公的助成が少なく、90%以上が皆様からのあたたかいご支援に支えられています。

また、2011年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大災害となり、盲導犬ユーザーはじめ沢山の視覚障がい者の方々が被災しました。当協会では、盲導犬ユーザーならびに視覚障がい者の方々の支援をするため、「盲導犬ハート募金」を立ち上げました。

ジャパン・カインドネス協会様はじめ、多くの皆様から募金へご協力いただき、仙台訓練センターを中心に「東日本大震災視覚障害者支援対策本部」として、様々な支援活動を行うことが出来ました。

仙台で確実に盲導犬の訓練をすることも復興につながる大事な活動のひとつ



みなさまのご支援に支えられています

避難所や個人宅を一軒一軒訪問し、白杖・点字器・音声時計・ラジオなどの物資支援の他、情報提供・各種申請・支援取次・リハ相談・友人安否情報などの物資以外の支援や、入浴サービスなど、皆様の希望に応じてきました。まだ支援の足りない福島県を中心に、今後も被災された方々の支援活動の為に大切に活用させていただきます。

人と盲導犬の歩みが続く限り、私たちは活動を続けていきます。

日本盲導犬協会ホームページ <http://www.moudouken.net/>

ゆび募金から 832,860円（H24.1～4月分/メーカー分の1円）を「盲導犬ハート募金」に寄付しました。（H24.6/8付）

# キヤノンマーケティングジャパン 株式会社

「共生」の企業理念のもと、社会貢献活動を推進しています

## 【会社概要】

キヤノングループは、グローバル企業として、世界180カ国以上で幅広い事業を展開しています。キヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンMJ）は、国内の販売統括会社として、日本市場におけるキヤノン製品の販売、サービス、マーケティングの統括並びに、独自事業としてITソリューションの提供を行っています。

## 【ゆび募金活動について】

昨年、キヤノンMJのお客様でもある飲料メーカーからのご提案を受け、キヤノンMJ本社ビルで稼働している自販機（22台）を、「ゆび募金」自販機として活用させて頂くことになりました。“ドリンク購入を通じて寄付参加できる”という「ゆび募金」の仕組みが、社会貢献活動に対する従業員の意識啓発にも寄与すると考えています。2011年11月の開始から6月末までの累計で、総額約21万円の寄付を見込んでいます。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長：川崎 正己  
本社所在地：東京都港区港南2-16-6  
従業員数：連結18,861名 単独5,244名  
事業内容：キヤノン製品ならびに  
関連ソリューションの国内マーケティング

## 【寄付先について】

●「未来につなぐふるさとプロジェクト」で協働する環境NPO  
キヤノンMJは、子どもたちの未来に美しく緑豊かな“ふるさと”を残すことを目指し、国内各地の環境NPOと協働し、森づくりや棚田の保全など自然再生活動に取り組んでいます。

プロジェクトの詳細は  
[canon.jp/furusato-p](http://canon.jp/furusato-p)



## ●国連WFP協会

世界では7人に1人、10億人近くが飢餓で苦しんでいます。キヤノンMJは、WFP国連世界食糧計画の日本における公式支援窓口である「国連WFP協会」を通じて、世界の飢餓と貧困の撲滅のための支援を行っています。



「WFPウォーク・ザ・ワールド」に毎年参加

企業の

CSR活動

## 株式会社 レント

## 【事業内容】

株式会社レントは1984年の創業以来「建設機械・産業機械のレンタル」という事業を行い、「保有するよりレンタルする」という発想をお客様に提案しています。この事業を通じてお客様個々の企業活動、広くは社会の合理化のお役に立たせていただいています。

企業活動に必要な道具や機械は、「よく使う」「たまに使う」「滅多に使わない」「仕事がいった時だけ使う」等使用頻度は様々です。購入すれば保管場所や定期的なメンテナンス、資産管理及び税務上の処理など雑多な「保有に伴う手間とコスト」がつかまといまいます。それらを不特定多数のお客様に転用する事で、「滅多に使わないもの」が「よく使うもの」に変身し、お客様個々の保有に伴う手間とコストは無くすることが出来ます。これが「保有するよりレンタルする」を通じて弊社が提案する合理化です。

## 【ゆび募金活動について】

ゆび募金自販機は、得意先企業からのご紹介がきっかけで「飲料を扱うのであれば、社会の役に立つ方がいい」との理由で採用しました。導入後は社員や近隣の皆様も同様な気持ちのようで、周辺の自販機と比較して、各段に売上が良いとの報告を受けています。

寄付先には、震災復興の一助になればと「東日本大震災復興支援」を選びました。

## 【CSRについて】

基本的には「主業を通じて社会貢献をする」という考え方ですが、タイ国に事業展開をしている関係もあり、チェンマイにあるパーンロムサイ（AIDS孤児の生活保護施設）の活動を支援しています。



株式会社レント  
代表取締役社長：田島 潤一  
本社所在地：静岡県静岡市駿河区宮竹1-14-14  
従業員数：550名  
国内営業拠点：51店舗 海外拠点：2店舗（現地法人）

# 【東日本大震災復興支援】

—— 希望 そして 絆 ——

## ◆復興支援寄付報告◆

現在JK協会が行っている、ゆび募金による復興支援は次の通りです。

- ①既存のゆび募金自販機で、飲料1本につきメーカー分の1円を復興支援に切り替える。
- ②復興支援専用のゆび募金自販機（飲料1本につき2円が復興支援へ）の展開。

期 間	寄付金額	寄付先
H23.1月～4月	1,454,308円	義援金として日本赤十字社に送金（H23.5/27）
H23.5月～8月	1,749,271円	義援金として日本赤十字社に送金（H23.10/7）
H23.9月～12月	1,548,859円	メーカー1円分 956,375円を「今そこ演芸団」に寄付（H24.2/10） ※592,484円は3期分まとめて寄付の予定
H24.1月～4月	1,473,290円	メーカー1円分 832,860円を「盲導犬ハート募金」に寄付 ※640,430円は3期分まとめて寄付の予定 (H24.6/8)

この支援にご賛同・ご協力を賜りましたロケオーナーの皆様には厚く御礼申し上げます。

## ◆アンケート結果報告◆

JK協会の復興支援活動に関し、アンケートを実施しました。たくさんのご回答ありがとうございました。一部抜粋してご紹介させていただきます。

### Q. どんな復興支援活動に寄付したいですか？

- 親を亡くした子どもへの生活、教育援助
- 笑いや勇気、元気を届ける活動
- 被災地でボランティアに参加する方々の支援
- 子どもや高齢者の暮らしに役立つこと
- ペットなど被災地の動物を支援している団体
- 職業訓練施設の整備
- 仮設住宅に住む被災者への支援
- 被災者が本当に望んでいることを！

### Q. ゆび募金に関するご意見

- 時間とともに支援が途絶えがちになってしまう。本当に必要なところに、息の長い支援をしてほしい。
- 日本中の自販機がゆび募金になればいいと思う。応援しています。
- 自販機の売上げの一部を寄付するというのは、無理なく継続的な支援ができるので、いいと思う。
- 寄付した団体の活動などを一般の人にももっとアピールできるとよいと思う。

## ■編集後記

そろそろ第4号会報の準備に入ろうか…と思っていた矢先に、東日本大震災が起きました。JK協会はすぐに緊急支援等できる限りの支援に取り組みました。そんな状況に忙殺されているうちに、第4号の発行がすっかり遅くなってしまいました。お詫び申し上げます。

震災を経験し、改めて互いに支えあうことの大切さを認識しました。「大きな援助はできないけれど、自分のできる範囲の支援をしたい」という気持ちを抱かれた方も多いと思います。私たちがそんな気持ちを実際の支援につないでいけたらと思っています。

最後に、今回の会報作成にあたり、ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より感謝申し上げます。

## ゆび募金だより 会報第4号

発行日： 2012年 6月 20日

発行：  特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL 042-571-2233

FAX 042-571-2263

Eメール info@jkkyoukai.com

URL <http://jkkyoukai.com/>